

地元業者の撤退によるメンテナンス不安を パッケージソフト導入で解消！

安部工業 株式会社

<導入した製品>
どっと原価3 ライト

原価管理システム

どっと原価



安部工業株式会社様は、山形県小国町に拠点を構え、建設業界での豊富な経験と高度な専門知識を持つ企業です。地域社会の発展と安全を追求し、建てる力、繋ぐ力、創る力をもって、お客様のニーズに最適な事業を行われています。

事業は多岐にわたり、土木事業では砂防えん堤や橋台工事など、地域のインフラ整備に欠かせない工事を行われています。安部工業株式会社様が手掛ける工事は、高い品質と耐久性を兼ね備え、地域の安全と安心を支えています。

また、建築事業では公共施設の改修工事や整備工事を通じて、柔軟かつ効率的なサービスを提供し、地域社会の発展に貢献されています。

さらに、除排雪事業では冬季の積雪に対応し、道路や施設の除雪作業を行い、安全な交通環境を確保しています。私たちの地域の生活を支えるため、迅速かつ確実な除雪サービスを提供されています。

安部工業株式会社様は、安全衛生の重要性を認識し、常に最高水準の安全基準も遵守しています。その努力が認められ、令和5年10月には全国建設業労働災害防止大会で安全衛生表彰の優良賞を受賞されました。

キャッチフレーズである「建てる力、繋ぐ力、創る力」は、安部工業株式会社様のビジョンと価値観を表しています。地域社会の発展と安全を守るため、常に建設力を発揮し、人とのつながりを大切に、新たな価値を創造されています。

総務係 渡邊様に自社紹介をしていただきました。

「昭和62年設立以来、公共工事、民間工事に携わり、地域の皆様に支えていただきながら歩んでまいりました。

弊社はお客様の多様なニーズに合わせて施工する、総合建設業です。

『お客様に、満足していただける製品を提供する』という品質方針のもと、安全第一で、お客様の満足度の向上、信頼される技術の向上に会社一丸となり取り組んでまいります。

今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。」



安部工業株式会社

プロフィール

安部工業 株式会社

- 業種: 土木
- 売上高: 5億~10億未満
- 作業員数: 31人~100人
- 利用形態: クラウド
- 住所: 山形県小国町
- TEL: 0238-62-5548
- URL: <https://abe-kg.co.jp/>

—導入検討に至った経緯—

「これまでは地元業者に依頼して作成した自社仕様のアクセスを業務システムとして運用していましたが、地元業者の撤退によるメンテナンス不安が恒久的にありました。ついにはシステム内にバグが発生するようになり、データが消失してしまうというトラブルに見舞われたことで、早急な新システム導入を検討する必要がありました。」

これまで自社システムを開発・保守を任せていたベンダー企業が撤退のうえ不在となり、技術者不足も相まった時代に自社システムを維持できなくなるという事態になられた会社事情を耳にする機会が増えています。

ベンダー企業や業者に任せている会社には、自社で保守管理できる環境が構築されていないケースがほとんどです。「ITベンダーの協力なしでは、既存のシステムを管理することもままならない」、このような事態になった場合には下記のような回避策から選択せざるを得ません。

① 自社でシステム管理が担えるように改める

② パッケージシステムやクラウドシステムに切り替える

③ システムは稼働しているのも最後まで使い切る

安部工業様においては、「②パッケージシステムやクラウドシステムに切り替える」ことを選択されました。

—導入を決定された要因—

「様々なシステムと比較した結果、既存システムの管理内容を踏襲し、かつ価格と使いやすさを参考に『どっと原価3』を導入することとしました。」

建設業務に対応するためのシステムは多様な種類があります。「どっと原価3」は工事情報の始まりから終わりまでの管理に対応するため、お客様のニーズに合わせた機能を準備しています。

必要な機能を組み合わせることが可能となっているため、コストパフォーマンスの高い製品となっています。

—「どっと原価3」導入後の効果やご満足いただいた点—

「これまでのシステムでは残高結果がわからなかったため、他部門への確認頻度が多く業務効率が滞っていました。システム入替をしたことで、残高表示されるようになり、各部門連携もうまくとれ、工事管理も楽になりました。」

経理処理では、工事情報や発注内容が不明な伝票を処理する際に、各工事担当者に照合を依頼する必要があります。原価管理システムは工事情報を一元化しているので、どのタイミングでも各部門が情報登録した内容と受付部門が照合できる大きな利点があります。

まとめ



導入前のお悩み

① 地元業者の撤退による恒久的なメンテナンス対応への不安

② バグ発生によるデータ消失

ニーズ

① 既存システムの管理内容を踏襲し、なおかつ使いやすさと価格

導入後に期待する点

① 他部門への確認頻度が減り、業務効率を向上した点